

介護に関するアンケート結果報告（実施平成27年10月）

概要

現在は介護を行っている社員はいないが、今後5年以内に介護する可能性が高い社員がいる。介護に対して、半数は不安を感じており、公的介護制度等のしくみがわからないことが、その要因の一つになっている。大半の社員がしくみがわからないと回答している。介護することになったとき望ましい働き方は、休業制度を利用するより、短時間で働きながら、介護と仕事の両立を望む社員が多い。現在の職場状況は、ほとんど残業はなく、上司や同僚とのコミュニケーションは良好である。

介護の状況

1. 介護をした経験があるか？
 - ・ある 25% 現在介護していない
 - ・なし 75%
2. 今後5年間のうちに介護する可能性
 - ・介護する可能性がかなり高い 25%
 - ・介護する可能性が少しある 25%
 - ・介護することはない 50%
3. 将来介護する可能性がある方はだれか？
 - ・その他の親族 50%
 - ・わからない 50%
4. 介護することに不安を感じるか？またその原因等
 - ・不安を感じる 50%
公的介護保険制度の仕組みがわからないこと
仕事は続けられると思う、職場に介護のことについて話せる雰囲気はある
 - ・感じない 50%
5. 介護することになった場合望ましい働き方は？
 - ・介護休業や介護のための短時間制度を利用しつつ、できるだけ普通に働き続けながら、仕事と介護を両立する 75%
 - ・介護が必要な時期は休業制度を利用して自分が介護して、その後仕事に復帰する 25%
6. 公的介護保険制度の被保険者か？
 - ・わからない 75%
 - ・いいえ 25%
7. 公的介護保険制度のことについて知っているもの
 - ・上記のなかで知っているものはない 75%
 - ・介護保険サービスを利用した場合の自己負担割合 25%
 - ・要介護に認定基準 25%
 - ・施設サービスを利用した場合の居住費・食費は原則自己負担 25%
8. 地域包括支援センターのことは知っているか？
 - ・名称も利用方法も知らない 50%
 - ・利用したことはないが名称も利用方法も知っている 25%
 - ・名称について聞いたことがあるが、利用方法は知らない 25%
9. 職場の介護支援制度について
 - ・制度があるかどうか知らない 50%
 - ・制度があることは知っているが、内容はわからない 25%
 - ・制度はない 25%
10. 介護休業に対する考え方
 - A 介護休業期間は主に仕事を続けながら介護するための体制を構築する期間である
 - B 介護休業期間は介護に専念するための期間である
 - A 25%
 - どちらかというとはA 50%
 - どちらともいえない 25%

仕事や職場の状況

1. 残業の程度
 - ・ おおむね定時退社をしている 100%
2. 有給は希望通りとれたか
 - ・ 希望通りとれた 100%
3. 長時間労働の削減や業務効率化の取り組み
 - ・ 仕事のスケジュール管理や労働時間の使い方に関する一般社員への教育 100%
 - ・ 業務効率化や要員配置の見直しなどの業務処理体制の改善 50%
 - ・ 仕事のスケジュール管理や労働時間の使い方に関する管理職への研修 50%
4. 職場のコミュニケーション
 - ・ 上司とのコミュニケーションは円滑である
 - ・ そう思う 75%
 - ・ ややそう思う 25%
 - ・ 同僚や部下とのコミュニケーションは円滑である
 - ・ そう思う 75%
 - ・ ややそう思う 25%

あなた自身について

1. 性別
 - 男 75% 女 25%
2. 年齢
 - 20代 75%
 - 30代 25%
3. 役職
 - 一般社員 75%
 - 課長担当職 25%